

3歳以降での 日本脳炎のワクチン接種を進める理由



日本脳炎のワクチンは6ヶ月～公費対象です(川口市)。
ただ、埼玉県での流行状況やと接種後の抗体の有効性を踏まえ、
当院の推奨開始年齢は3歳～としています。

Sunnyキッズクリニック

日本脳炎とは

日本脳炎ウイルスの保有動物であるブタより蚊を介して感染します。
日本脳炎ウイルスに感染しても、ほとんどの人は気がつかない程度(ごく少数の人が発病)します。発病率は100～1000人に1人程度とされています。
日本脳炎ウイルスに対する免疫(抗体)保有率は、西日本を中心に毎年広い地域で抗体陽性のブタが確認されており、日本国内のうち、西日本を中心に日本脳炎ウイルスに感染しているブタが多数存在していると言われています(感染症流行予測調査より)。

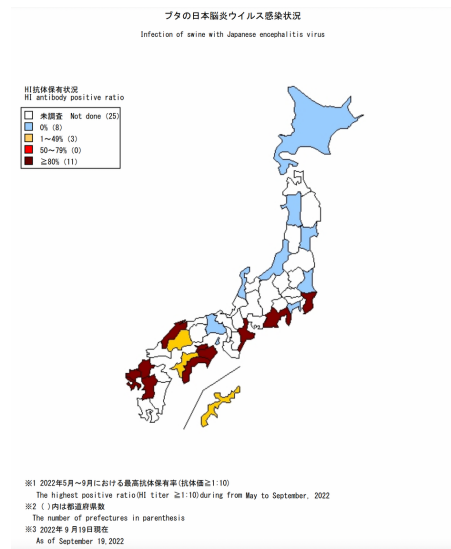
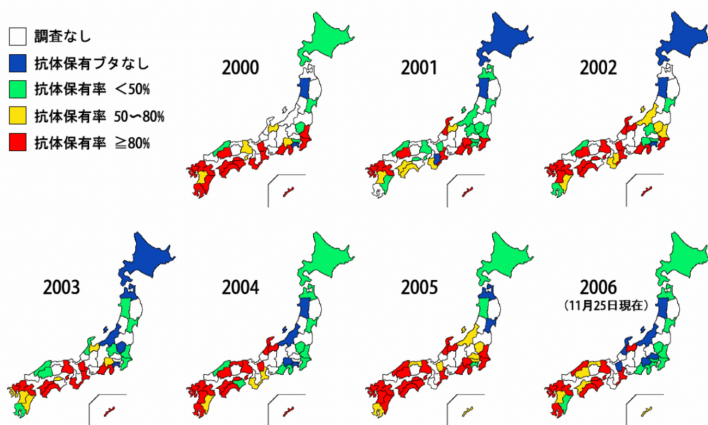
埼玉県(東日本)での養豚場の現状

日本では、主にコガタアカイエカによって、ウイルスを保有するブタからヒトに日本脳炎ウイルスが伝播されます。蚊の活動範囲(飛行距離)は、8km程度移動したという報告がありますが、概ね2km前後とされています。また、一般的には郊外より都市部で生活される方が、日本脳炎に対する感染のリスクは下がると考えられます。

接種後の抗体の有効性

3歳未満のワクチン接種量は0.25mlに対し、3歳以上の接種は接種量が0.5mlとなります。
1期である3回分の接種時期を早めても2期の接種期間は9歳と変わりません。
早く接種することは接種量が少ない=抗体量が0.5ml接種に比べると少ない。かつ、9歳まで接種間隔が空くことにもなります(6ヶ月より接種を開始すると1歳半には最短で接種が終了します)。

図2 ブタの日本脳炎ウイルス感染状況、2000～2006年
感染症流行予測調査事業より



※2006年までは抗体保有ブタなし
それ以降は未調査

参考資料

感染症情報センター



ブタの日本脳炎抗体保有状況-2022年

